

水産庁長官賞

窪津漁業協同組合

～ 地域資源である魚を活用した直売所、食堂、交流活動の展開～

代表者： 瀧澤 満
所在地： 高知県

構成員： 漁業組合員318名
活動開始年月日： 平成12年4月(漁協直販センター)
平成18年2月(漁協直営レストラン)

表彰理由

地域資源である「魚」を活用して、観光定置網などの交流活動を行うほか、地場野菜などの農産物も取り扱う直売所、地元産の魚介類や野菜を使った料理を提供する食堂などを展開し、交流人口の拡大、地元の農水産物の販売の安定化、付加価値向上などにより、地域の水産、農業の両面の活性化に大きく貢献。

取組内容

1 地域の魚や野菜を活用した直売所や食堂の展開

平成7年から開始した、新鮮な魚介類など地域食材を販売する日曜朝市をさらに進めるため、平成12年に、地域の新鮮な魚介類、野菜、加工品を購入できる漁協直販センター「大漁屋」を整備。

平成18年には、地域の魚介類、野菜等食材を使った地元ならではの料理を提供する食堂（「大漁屋海鮮館」）を整備し、地域食材の有効利用や郷土料理の伝承普及を推進。

2 消費者との交流

定置網漁を見学し、港に水揚げされた獲れたての魚が食べられる観光定置網の実施。

「親子ふれ合いキャンプ」、「窪津みなと祭り」、「修学旅行生の漁家受入れ」などの漁村の生活・文化体験を通じた都市と漁村との交流。